

環 境 方 針

有限会社ウインライズは、一般土木工事事業、環境事業を通じ地域社会への貢献を目指し、社員一人ひとりが地球環境の保全に自主的に取り組み、次の世代の為に環境汚染の防止を図り豊かな自然と安全で住みやすい社会の構築を目指します。

私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組みを社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（節電・紙使用量の節減）
- ② 一般土木工事事業、環境事業における廃棄物の適正処理
- ③ 事務所内における廃棄物の削減
- ④ 環境配慮事業所としての環境配慮推進活動

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、環境方針と環境目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成20年 1月30日

有限会社ウインライズ

代表取締役 木村 俊郎

3. 環境負荷の低減目標

平成21年に向けての環境負荷の低減目標。

(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも平成19年。)

NO	目標	19年	21年
1	二酸化炭素の総排出量を10%削減する。	総排出量 22,899 (kg-CO ₂)	→ 総排出量 20,609 (kg-CO ₂)
2	産業廃棄物の適正処理を維持する。 (法律に基づく適正処理)	適正処理	→ 適正処理
3	一般廃棄物の廃棄量の把握及び リサイクルの推進を行う。	廃棄量の把握 リサイクルの推進	→ 廃棄量の把握 リサイクルの推進
4	コピー用紙の購入量を10%削減する。 (対売上比)	購入量 75.7kg 売上比 0.314 (kg/百万)	→ 購入量 68.1kg 売上比 0.286 (kg/百万)

4. 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

『実行責任者： 木村 千佳 』

『遂行者： 全員 』

(現場での活動)

- ・ 昼休みと休憩時には、作業事務所(休憩所)の使用していない機械の電源を切る。
- ・ 建設機械及び車両のアイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける。
- ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする。
- ・ 現場への移動は、効率的な使用(運転経路、相乗り)を徹底する。
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する。
- ・ エコドライブ推進のためのシールを車内に貼付する。

(事務部門での取組)

- ・ 事務所の空調温度を適正（冷房時 26 度、暖房時 22 度）に設定する。
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する（標語シールの掲示）。
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する。
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける。
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する。
- ・ エコドライブ推進のためのシールを車内に貼付する。
- ・ 事務所内の緑化運動を展開する。

【取組 2】 産業廃棄物の適正処理を維持する。（法律に基づく適正処理）

『実行責任者： 木村 俊郎 』

『遂行者： 全員 』

(産業廃棄物)

- ・ 作業工程での分別を徹底する
- ・ 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する（E票の確認）
- ・ 軍手、ゴム手等使用限度を定め、ムダに廃棄しない
- ・ 最終処分場業者等の契約書及び許可証を定期的に確認する

【取組 3】 一般廃棄物の廃棄量の把握とリサイクルの推進

『実行責任者： 木村 千佳 』

『遂行者： 全員 』

(一般廃棄物・リサイクル)

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める。
- ・ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する。
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する。
- ・ 紙ごみに関して、リサイクルを徹底する。
- ・ エコマーク、グリーンマークのついた商品購入を心がける。

【取組 4】 コピー用紙使用量の削減

『実行責任者： 木村 千佳 』

『遂行者： 全員 』

(用紙削減)

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

【取組5】その他の取組み

- ・ 乾電池の充電、再生紙の利用を徹底する
- ・ 手洗い場には節水の標語シールを貼付する
- ・ 電気スイッチには、節電の標語シールを貼付する
- ・ 大型機械（重機）等は、夜間・休日に行わない
- ・ 使用済み切手の再利用、ベルマーク等諸団体の取組に協力し、社会に貢献する

5. 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、四半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。